

たんぽぽ



西東京市立柳沢中学校

第1学年便り

令和7年1月17日

No.26

2学期を振り返り、3学期に生かそう！

学級委員長 A Y

学年集会より

1年生の良いところは、積極性があるところです。また、朝読書や当番活動に積極的に取り組めるところです。

改善すべきところは、授業準備ができていないところです。授業開始の挨拶が終わると、教科書やファイルを取りに行く人がいます。必ず、10分休みの時に授業の準備をしましょう。また、授業中に私語があり、授業に集中できていないところです。休み時間に落ち着きがないところです。

休み時間に落ち着きがないというのは、一学期の振り返りでも改善点として挙げられていました。一度で解決できないことは、同じようにやっても解決できないと私は考えています。そのため、生徒総会でも確認された「休み時間のルール」をしっかり守るということを全員が意識しなければなりません。学級委員も改善していけるように工夫しています。学年全体のことなので、みんなで改善していけるように頑張りましょう。

授業準備について

授業が始まるギリギリの時間や授業が始まってから準備をしている人がいます。

授業に必要なものを貸し借りしていることがあります。物の貸し借りは学校のルールでも禁止になっています。返し忘れたり、借りたものを雑に使って壊したりの被害も聞いています。

次の日の持ち物は、忘れないように記入し、前日までに用意し、忘れ物がないようにしましょう。

3学期の反省には、同じことが繰り返されないように一人一人が自分のこととして考え、生活を見つめ直していきましょう。

スキー教室でも、忘れ物がないようにしっかり準備し、自分の持ち物は自分で管理できるように日頃の生活の中で練習しておきましょう。

新しい1年のはじまり

そして中学1年生 最後の学期がスタートしました

「生きる」谷川俊太郎さんの詩です。（裏面に掲載）この詩を読むと、命のつながりや自然との響き合い、人類のたどってきた歴史…家族のこと、友達のこと、辛かったこと、悲しみ、うれしかったことの思い出、いろいろなことが心をよぎります。そして、命は愛おしく、誰にとってもかけがえのないものだという思いに包まれます。

新しい年を迎え、中学1年生最後の学期のスタートです。進級に向け、自分を見つめる目をもち、欠点も過ちも認めて乗り越えていくことが、自分の人格を育てていくことにつながります。

皆さんは、自分の進路に向けてこれから真剣に考える日がいずれやってきます。3年生は今、必死に頑張っているところです。その努力が谷川さんの詩のような「生きる」につながってほしいと思います。

3学期の1日1日を大切に過ごしていきましょう。

生きる

谷川 俊太郎

生きているということ
いま生きているということ

それはのどがかあくということ
木漏れ日がまぶしいということ

ふっと或るメロディを思い出すということ
くしゃみすること

あなたと手をつなぐこと

生きているということ
いま生きているということ

それはミニスカート

それはプラネタリウム

それはヨハン・シュトラウス

それはピカソ

それはアルプス

すべての美しいものに由会うということ

そして

かくされた悪を注意深く こぼむこと

生きているということ
いま 生きているということ

泣けるということ

笑えるということ

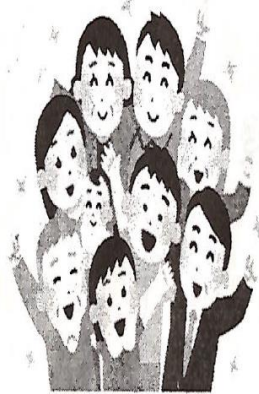
怒れるということ

自由ということ

生きているということ

いま生きているということ

いま生きているということ



いま遠くで犬が吠えるということ
いま地球が廻っているということ
いまどこかで産声があがるといこと

と
いまどこかで兵士が傷つくということ
いまぶらんこがゆれているということ

いまいまが過ぎてゆくこと

生きているということ
いま生きているということ

鳥ははばたくということ

海はとどろくということ

かたつむりははうということ

人は愛するということ

あなたの手のぬくみ

いのちということ